

# ウィザス

No.112



芦屋市男女共同参画センター通信  
2023年 秋号

With us

“共に生きる—男女共生社会—”の  
理念を表しています。

## デートDV防止啓発パンフレットを 作成しました！



パンフレット作成メンバーと  
女性学 インスティテュート ディレクター 矢野教授

内閣府が定めている「女性に対する暴力をなくす運動」期間（毎年11月12日～25日）に合わせて、神戸女学院大学の学生様と共同で、「デートDV防止啓発パンフレット」を作成しました。デートDVとは何か、特に中・高校生に知ってもらいたい内容を、マンガで分かりやすく知ることができるパンフレットです。詳しくは4面をご覧ください。

### 今回のトピックス

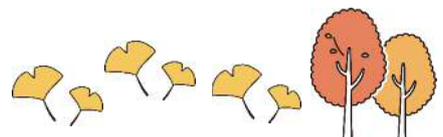
## 「ルッキズム」ってなに？

**体**型や容姿を、どのくらい気にしていますか。内閣府による「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（平成30年度）」では、自分の容姿に誇りを持っていると答えた人は、日本ではわずか6%。アメリカでは40%近くの若者が容姿に誇りをもっているのと対照的で、自信のなさが突出しています。

人を見ただ目で判断したり、差別したりすることを「ルッキズム（外見至上主義）」と言います。とはいえ、カッコいい人、美しい人、可愛い人に憧れることもありますよね。「中身が大切」と言いながら、相手を判断する時は、見た目には左右されがちです。私たちは「見た目」とどう向き合えばいいのでしょうか。（2面へ続く）

### CONTENTS

- 01 ■ 「ルッキズム」ってなに？
- 02 ■ 市民編集委員の声  
「見た目だけで判断する？」
- 03 ■ 講座レポート・講座のご案内
- 04 ■ お知らせ ■ 図書のご案内  
■ 女性相談のご案内



## 見た目だけで判断する？

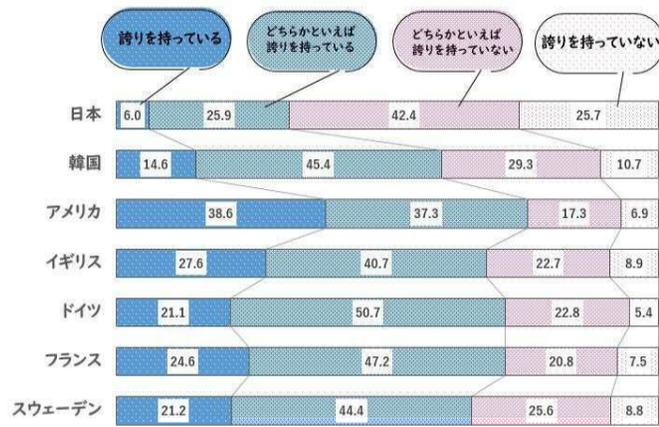
### メディアに刷り込まれている？

内閣府の調査では、日本の若者は「容姿に自信がない」と思っている人が、諸外国の若者と比べても特に多いことがわかります。(図1)

自分の容姿に対する感覚は、自分自身が主体的に持っているものだと考えていても、メディア等からの情報の影響を受けて、知らず知らずのうちに、美の基準をコントロールされています。例えば、SNSの中の画像や動画では、出ている人たちの多くは、スレンダーで自信に満ちているように見えます。また、肌質や体型、体毛に関する美容の広告が、数多く見られます。日々目にするこのようなメディアの情報から、特に女性は、若くて美しくて痩せていて、ぱっちりした二重まぶた、ムダ毛もない方が“美しい”という価値観が、日本社会に溢れているように感じられます。動画投稿サイトの広告には、外見の劣等感を刺激して商品を宣伝する「コンプレックス広告」と言われているものもあり、女性にも男性にも、偏りのある「美しさを追求すべし」というメッセージが発信され続けています。

メディアの発信するメッセージをそのまま鵜呑みにするのではなく「本当にそうなのか」と、一度、自分で考えてみるのが大切です。また、人と付き合う中で、たしかに外見から受ける印象は大きいですが、それだけでその人のことを判断はしませんよね。その人の人柄や知性などを知ることで、付き合いの深さにつながっていきます。

図1 容姿に自信のない日本の若者たち



(出典) 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成30年度)」  
(注) 母数は各国によって異なります。



### 見た目重視を超えてみない？

日本にいと、メディア等で“美しい”と言われる容姿だけが、正解だと思ってしまうかもしれません。しかし、美しさの基準はひとつではありません。世界に目を向けると、肌の色や骨格、髪や目の色がさまざま、美の基準は千差万別です。商業ベースの刷り込まれた価値観に踊らされた先にあるのは、必要以上に痩せようとした結果、拒食症になってしまったり、自己肯定感を低くして心身ともに壊れてしまったりする自分ではないでしょうか。社会が作り出した美の基準にとらわれず、自分がどうしたいのかをよく考えて、見た目を重視する価値観を吹っ飛ばしてみませんか。



### 編集委員のつぶやき

ルッキズム。最近少しずつ耳にする言葉ですね。今回の編集作業を通して、私も多くを学びました。人生中盤も越えると見た目ってそこまで重要じゃないなと心から思うのだけど、若い頃は知らない間に支配されていたなあと思います。多くの若い人達にこの記事が届くと良いな😊 (森山)

## 講座レポート 実施しました！



### お父さんと自然物を使って遊ぼう！

第1回 8月19日(土)  
第2回 9月9日(土)

平日は忙しくてお子さんと向き合う時間が少なくても、土曜日の少しの時間、身近な自然物を材料にした作品づくりを通して、親子のふれあいを楽しんでいただきました。親子時間を楽しみながら、普段の仕事や家庭等のバランスを見直すきっかけとなったのではないのでしょうか。

◆ 講師 ◆ ちきゅうっ子応援隊 所属講師 (第1回 水廣 あさみ 氏・第2回 矢田 明規 氏)

<完成作品>



### 参加者の声

- ◆ 普段できない体験ができて、楽しく過ごすことができました。
- ◆ 自然物や材料が豊富で、娘が目を輝かせながら選んでいました。作業中もスタッフの方に声をかけていただき、より楽しむことができました。
- ◆ 親子で取り組めて、親子共々楽しかったです。

### パパタイム ～育児アドバイスも聞ける！ 子どもと一緒にパパ同士でお話ししましょう！～

8月26日(土)



当日会場には、現役の保健師がアドバイザーとして参加しました。たくさんのパパにお越しいただき、子どもを遊ばせながら、育児等の情報や悩みを共有・交流していただきました。

### 介護離職を防ぐ！ 介護と仕事の両立支援講座

9月30日(土)



介護離職を防ぐために、具体的な介護と仕事の両立方法や、環境の整え方等を学ぶ講座を実施しました。会場参加とオンライン参加を同時に行う、ハイブリット講座形式で行いました。

## 講座のご案内

### ◆ 女性の健康セミナー 申込要

～知っておきたい生理のアレコレ！  
生理のお悩み解決しませんか～

令和5年11月11日(土) 午前10時30分～正午

生理に関わる不調を中心に、辛い生理痛への対処法や、「低用量ピル」の正しい活用方法等について、産婦人科医の講師よりお伝えします。自身の健康を振り返るきっかけにしましょう！

■ 対象：講座テーマに関心のある20代～50代の女性  
※上記の方以外でも、テーマに興味のある方は参加可

■ 講師：プリュームレディースクリニック  
院長 松本 由紀子 氏

### ◆ パパタイム ～育児アドバイスも聞ける！ 申込不要

子どもと一緒にパパ同士でお話ししましょう！～

令和5年12月9日(土) 午前10時～

子どもを遊ばせながら、子育てに関することやパパ同士で話せない悩みなどお話しませんか？当日は、認定こども園の現役の調理師がアドバイザーとして常駐します。

入退場自由ですので、お気軽にお立ち寄りください。

申込方法・詳細等は  
こちら



芦屋市  
ホームページへ  
入ります

### ◆ 子どもにモテるパパになろう！ 申込要

～「生きる力」を伸ばす魔法の遊びと関わり～

令和5年12月2日(土) 午前10時00分～11時30分

「子どもからモテるお父さん」になりませんか？信頼関係を築くきっかけ作りとして、子どもにモテる遊び方や、お父さん自身が子育てを楽しむコツなどを一緒に学びましょう！

■ 対象：概ね1歳～3歳までのお子さんと男性保護者  
※女性保護者の同伴可

■ 講師：マジックパパ代表 和田のりあき氏



講座はすべて、一時保育あり(要予約)

◆ 講座内容・時間が変更となる場合がございます。最新の情報は、芦屋市ホームページでご確認ください。

# お知らせ

11月12日～25日は  
**女性に対する暴力をなくす運動**の  
 実施期間です



内閣府では、毎年11月12日から25日（女性に対する暴力撤廃国際日までの2週間）を、「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間としています。暴力は絶対に許されるものではないという意識を、一人一人が持ち、あらゆる暴力の根絶に努めましょう。



▼内閣府  
 ホームページは  
 こちら



## デートDV防止啓発 パンフレットを 作成しました！



芦屋市と包括連携協定を締結している神戸女学院大学にご協力いただき、学生様と共同で作成しました。



詳しくはこちら  
 (芦屋市のホームページへ入ります)

男女共同参画の視点からの  
 おすすめ

## BOOK



『彼女が性被害に遭うなんて』  
 (サンマーク出版)  
 マルクス【著】片田珠美【監修】  
 僕の彼女はある日突然、「性被害者」になってしまった。被害を告白された時、あなたはどの行動するか。性被害について、考えさせられる一冊です。

## 図書の貸出

男女共同参画センター1階の「情報コーナー」では、図書の貸出をしています。ひとり2冊2週間まで、どなたでも借りられます。※初回登録時には、氏名・住所が確認できる本人確認書類をご提示ください。



「情報コーナー」の  
 詳細はこちら

## 秘密厳守、面接相談、相談無料

「こんなことで…」と思わずに、まずはお電話ください。**女性のための相談窓口**

予約専用電話 **0797-38-2022**

【予約受付時間】月曜日～土曜日  
 午前9時～午後5時30分(祝日、12/28～1/4を除く)

### 心の悩み相談

女性の抱える生きづらさやさまざまな悩みを、女性の相談員がゆっくりお話を聴き、心の整理をお手伝いします。  
**第1・第3火曜日**  
**第2・第4金曜日**  
 午後1時～午後4時  
 (1人50分)

- 一時保育あり(無料・要予約)
- 場合によって日時の変更があります。ホームページやお電話でご確認ください。

### 家事相談

離婚・養育費・相続などの夫婦・親族間の悩みに、女性の相談員が相談に応じます。  
**第3金曜日**  
 午前11時～午後4時  
 (1人50分)  
 ※調停中の案件不可

### 法律相談

夫からの暴力や離婚問題、家族関係のトラブルやセクハラなど、法律上の相談に、女性の弁護士が応じます。  
**偶数月：第1水曜日**  
**奇数月：第2土曜日**  
 午後2時～4時  
 (1人30分)  
 ※1案件1回限り・係争中の案件不可

### 女性のためのステップ相談 (女性活躍相談)

再就労・起業・地域活動をしたいと考えている女性からの相談に、女性のキャリア・カウンセラーが相談に応じます。  
**月曜日**  
 午前9時～午後3時30分  
**火・水・金曜日**  
 午前9時～午後5時30分  
 (1人50分)  
 ※上記以外の時間は、要相談

配偶者やパートナーからの暴力に悩んでいるかたへ  
 ひとりで悩まず、お電話ください。

## 芦屋市DV相談室 (芦屋市配偶者暴力相談支援センター)

DV相談

予約専用電話 **0797-38-9100**

【予約受付時間】月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)  
 午前9時～午後5時30分(12:00～12:45除く)

秘密厳守、面接相談、相談無料、一時保育あり(無料・要予約)

## ウィザス

No.112

令和5年11月発行(秋号)

編集協力

市民編集ボランティア

企画・発行

芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや

芦屋市  
 ホームページ

〒659-0064  
 兵庫県芦屋市精道町8番20号(市役所分庁舎1・2階)

TEL: 0797-38-2023 / FAX: 0797-38-2175

Eメール: josei-ce@city.ashiya.lg.jp

- 開館 月曜日～土曜日・午前9時～午後5時30分
- 休館 日曜日・祝日・年末年始(12月28日～1月4日)



『ウィザス』の  
 バックナンバーはこちら

